

派遣法改悪案の採決強行

衆院 共産党反対 「大原則覆す」

「正社員ゼロ」「生涯ハケン」をねらう労働者派遣法改悪案の採決が19日、衆院厚生労働委員会と本会議で相次いで強行され、自民、公明両党などの賛成多数で可決されました。日本共産党は委員会、本会議で討論に立ち、反対しました。民主、社民、生活は本会議を退席しました。維新は、派遣法改悪案には反対しませんが、実効性のない「同一労働・同一賃金」法案に日本共産党は反対しました。

この日、国会周辺では、全労連、連合をはじめ、労働者が多数駆けつけて採決強行に抗議。「大改悪は許さない」「参院で必ず廃案に」と訴えました。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で「歴史的な大改悪だ」と批判し、「廃案のために引き続き力をつくす」と表明しました。

は到底いえない」と抗議改悪案は、「臨時的・一時的業務に限る」とする派遣法の大原則を覆すものと批判し、労働組合から意見聴取するだけで派遣受け入れ期間を際限なく延長できるなど、「正社員から派遣への置き換えが大規模に進むことは明らかだ」と指摘しました。

政府が持ち出す労働者のキャリアアップ措置と雇用安定措置については、「実効性がなく、正社員になれる保証はない」と批判。期間制限が来ても部署を変えれば派遣を継続できるため、派遣先による労働者の選別が行われ、派遣法違反の行為を生み出す欠陥法案だと強調しました。リーマン・ショックで「派遣切り」された労働者の願いを踏みにじって究極の不安定雇用を広げることが許されないと述べました。

労組が終日抗議 「必ず廃案に」

全労連や全労協、連合など諸団体は19日、東京都内で終日、抗議の声をあげ、派遣法改悪案の廃案に向けた運動を展開しました。

全労連・労働法制中央連絡会は夕方から、JR新宿駅前で緊急宣伝を実施。全労連の野村幸裕副議長は「働き方を根本的に変える悪法が、国民の声を無視して強行された」と批判。自由法曹団の鷲見（すみ）賢一郎弁護士は「生涯ハケンの強要、正社員ゼロ、派遣労働者の首切り自由の法案は必ず廃案に」と訴えました。

連合は、東京・JR新橋駅前で緊急宣伝を行いました。神津里季生事務局長は、「天下の悪法だ。『生涯派遣で低賃金』をすすめて、正社員が派遣に置き換わる」と批判。「舞台は参院に移る。あきらめず、何としても成立を阻止する」と強調しました。

2015年6月20日(土)

政党助成法廃止、企業・団体献金禁止2法案 金権政治根絶へ不可欠

日本共産党提出の政党助成法廃止法案と企業・団体献金全面禁止法案の審議が18日、衆院政治倫理・選挙特別委員会で行われ、穀田恵二議員が答弁に立ちま

議員院談 参議院議員 参議院議員 参議院議員

日 7月12日(日)

時 午後 1 時半

会場 県中小企業会館

主催 奈良革新懇

穀田氏は「政治資金の拠出は、選挙権と結びついた国民の政治参加の手段であり『国民固有の権利』だ」と述べ、「選挙権を持たない企業が献金することは国民主権と相いれない」「そもそも、企業献金は本質的に賄賂性を持つものだ」と指摘しました。その上で、20年前の「政治改革」では「企業団体献金禁止」を口実に政党助成金が導入されたが、「政党支部への献金」「政治資金パーティー」という抜け道が残されたことで、企業・団体献金と政党助成金との「二重取り」が続き、金権腐敗政治と政党の墮落を生みだしている」と強調。「企業・団体献金全面禁止と政党助成金廃止を一体に行うことは、金権腐敗政治を根絶するうえで不可欠の道だ」と、塩川鉄也議員の質問に答えました。

同日の審議の中で自民党議員は、1970年の八幡製鉄最高裁判決を持ち出し企業献金を容認しました。

穀田氏は、同判決が企業は「社会的実在である」「政治的行為をなす自由がある」と述べているが、企業による献金の自由を認めることは国民の参政権を侵すことになる」と強調。「今なお、この判決にしがみつくのは、国民の権利を侵害している実態から目をそらし、立法府が積み重ねた企業・団体献金禁止の議論を無視するものだ」と批判しました。

穀田氏はまた、維新の党の議員の質問に対し、「政治資金は国民の浄財で賄われるものだ。政党は何よりも国民の中で活動し、国民の支持を得て、その活動資金をつくるのが基本だ」と答えました。

2015年6月19日(金)

2015, 06, 23 NO, 715

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 8 6 2 - 7 0745-43-2415
吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 1 1 3 - 5 090-5257-4446
森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 2 8 1 - 1 0744-33-8570
池田 としお Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 4 4 0 - 5 0745-43-2661



日刊 3497円
日誌版 823円

